



Press Release



令和元年秋の外国人叙勲

パンカム・ヴィパヴァン国家副主席の旭日大綬章受章

令和元年11月3日
在ラオス日本大使館

令和元年11月3日、日本政府は令和元年秋の外国人叙勲受賞者を発表し、この中でパンカム・ヴィパヴァン国家副主席が叙勲されることが公表されました。同氏は日本・ラオス間の関係の強化及び友好親善に寄与した功績が認められ、本年、旭日大綬章を受章することとなりました。

- ・賞賜：旭日大綬章
- ・功績概要：日本・ラオス間のラオス間の関係の強化及び友好親善に寄与
- ・氏名：パンカム・ヴィパヴァン(Phankham Viphavanh)
- ・国籍：ラオス

パンカム氏は、1951年にラオス・フアパン県に生まれ、旧ソ連において学士・修士及び博士課程を修め、ラオスに帰国後、主に教育・スポーツ分野において多大な貢献を収めました。同氏は2010年から2014年まで教育・スポーツ大臣、2014年から2016年まで副首相兼教育・スポーツ大臣、2016年からは国家副主席を務められています。

パンカム氏は教育・スポーツ大臣として我が国の教育・スポーツ分野の支援に協力した他、我が国の東京オリンピック・パラリンピック開催候補にあたっては、アジア諸国としていち早く東京支持を表明するなど、我が国の活動を全面的に支援いただきました。また、国家副主席に就任後は、2015年の日ラオス外交関係樹立60周年事業をはじめ、我が国要人と親密な関係を築きながら両国の友好関係促進において多大な貢献をされています。

以上